

クラスの様子【3月号】

●ひよこ組 **今月の目標** 進級に向けて、個々の思いに寄り添いながら新しい環境になじんでいけるようにする。

2月は、りす組さんとたくさん遊びました。何度か遊びに行くことで、“この玩具で遊びたい”という目的を持って行き、遊び込める子もいました。自分のやりたいことや、自分の思いを表現できるようになり、言葉も一人ひとりのペースで増えてきました。みんなで音楽に合わせて歌ったり、体を動かす事を一緒に楽しむ場面も多くなり、その分トラブルになる事もありますが、お互いに刺激し合い、育ちあっているのを感じます。ひよこ組として残り一か月、一人ひとりの思い、ペースを大切にしながら次年度に向けて安心して過ごしていけるように体調に気を付けながら日々を送っていきたいと思います。(伊達)



●りす組 **今月の目標** 保育士や友だちとのかかわりを大切にしながら楽しんで過ごす。

2月はクラスでしっぽとりや椅子取りゲームなど集団遊びをいくつか楽しみました。しっぽとりは保育士がたくさんしっぽをつけ、追いかけて上手に取ることができていました。しっぽくしていると、子どもたちも「つけて」と自分もしっぽをつけたいとアピールし、友だちと追いかけて取り合って楽しんでいました。椅子取りゲームでは、音楽に合わせて歩き回り音が止まると椅子に座るというルールも少しずつわかってきていて、楽しんで取り組むことができていました。他にもうさぎぐみの子と一緒にかるたをしたり、年長の子と一緒に貨物列車も楽しむこともできていたので、これからも子どもたちの興味のあるものを見ながら、友だちと一緒にルールのある遊びもたくさんしていければと思います。りすぐみで過ごすのも残り1か月となりました。4月からりすぐみで生活をする中で、だんだん言葉が増えてきたり、自分でできることもたくさん増えました。日々、一人ひとりの成長を近くで一緒に感じる事ができても嬉しく思っています。もうすぐ1つ大きいクラスへ進級することに期待がもてるよう声掛けをしながら、保育士や友だちと一緒に楽しく過ごしていければと思います。(平塚)



●うさぎ組 **今月の目標** 進級する事への期待を持ちながら生活する。

早いものでもう3月。うさぎ組での生活も残りわずかとなりました。この頃では年少さんについて一緒に散歩に行ったり、とちのき組の部屋で遊んだりしています。一緒に手を繋いで歩いたり、パズルでわからなくて困っていると、「ここに入れるんやで」と教えてもらったり、トイレから戻るのに「連れてったるわな」とお兄ちゃんお姉ちゃんに優しくしてもらい嬉しそうにしています。また、自分達でも、つないでいた手を離して行ってしまったお友だちに「こっちやで」と呼びかけたり、「こっちやなー」と言って道の端を歩く背筋が、いつもより伸びていて、子どもたちなりに年少さんになることを意識している様子が伝わってきます。いざ環境がガラッと変わることによって不安になる事もあるかもしれませんが、少しでもそんな戸惑いが小さくなるように取り組んでいきたいと思います。新年度に向けて少しずつ準備をしながら、残りの日々を大事に、楽しく過ごしていきたいと思います。(中村)



クラスの様子【3月号】

●年少組 **今月の目標** 様々な友だちと関わり、過ごすことを楽しみながら進級への意欲をもつ。

2月の後半、年齢別で過ごして二週間が経ちました。今年度に入り歌唱指導などで何度も年齢別で過ごす機会はありませんでしたが、長い期間過ごしたことがなかったため降園時間になると「明日も年少さん？」と尋ねに来る子ども達がとても可愛らしかったです。お友だちとの関係もより深くなり、保育士に甘えにくることが多かった年少さんもお友だちと「次何する？」「一緒に遊ぼう！」と誘い合いながら遊ぶ姿をみていると寂しくもありますがとても大きな成長を感じます。最近ではもうすぐ年少さんになるうさぎ組さんと交流する機会も増えたことでお友だちの名前もだんだんと覚えてきて、「一緒に遊ぶ？」「こっちだよ！」とお兄さん、お姉さんとして関わってくれている頼もしい場面をたくさん見られるようになりました。友だちの輪が同年齢だけではなく、いろんな友だちと関わりながら居心地の良い、安心できる関係を築いていけるように引き続き見守っていききたいと思います。(平澤)



●年中組 **今月の目標** 年長組になる喜びや期待を感じながら、様々な事へ意欲的に取り組む。

今年度も残りわずかとなりました。年中組の子ども達を見てみると、しっかりしてきたなあと感じられる場面が増え、この一年で随分とたくましくなりました。特に、お当番でお手伝いする様子からはこれまで年長さんがしてきた事をよく見ていたのだな、と感じられたり、生き生きと積極的に行動する姿が見られ、とても嬉しく思います。朝からお当番を楽しみに登園し、給食前には「(そろそろ)お当番の準備する？」と進んで準備に取り掛かります。エプロンの着用では後ろに手を回しながらボタンを留めたり、三角に畳んだバンダナを自分の頭に巻いて結ぶ動作が難しいのですが、お友達や保育士が手伝う内にひとりですることができるようになった子もいます。ペア同士で役割を話し合ったり、相手が迷っているとリードしたりと協力できるようにもなってきました。お兄さん・お姉さんになったという自信や頼りにされる喜びを感じ、それが成長にも繋がっているのだと思います。これからも子ども達と一緒に考え、時には任せたりしながら、自分たちで進めていく経験を大切にしていきたいと思います。(キム)



●ライオン組 **今月の目標** 残り少ない保育園生活を存分に楽しむ。

ついにライオンぐみの子ども達が保育園で生活をする最後のヶ月となりました。今年は去年から続く新型コロナウイルスの影響で保育園での生活、活動、行事でも例年までとは異なる形をとらなければならない、やりたいことができない、という事がとても多く我々保育士としてもとてももどかしい思いをすることが多い一年となりました。年長児においては子ども達にとっても保護者の皆様にとっても「ライオンさんになったら」と期待していた事も多かったと思いますので我々保育士と同様、もどかしい思いをされた方も多かったと思います。ただ、そんな中だからこそ今年は子ども達と一緒に「これはどうしよう、あれはどうだろう」と行事や日々の活動について話し合う機会も多く、子ども達とよく向き合うこともできた一年になったのではないかと思います。日々の生活の中で子ども達の優しいところ、可愛いところ、頼りになるところを本当にたくさん見せてもらいました。保育園で過ごせる時間はあと僅かですが、これからもそんな子ども達の姿がたくさん見られるといいなと思います。そして何よりも子ども達が楽しんで残りの時間を過ごしていけるよう、我々保育士もできる限りのことは行ない、子ども達の最後の思い出作りに協力できるようにしていきたいと思います。(安田)

